# 令和8年度第1回札幌市環境教育・環境学習基本方針推進会議

日時：令和8年7月16日　14時00分～

会場：札幌市環境プラザ　環境研修室1・2

1　開会

2　議事

（1）会長、副会長の選出について

（2）令和7年度環境教育関係事業の実施結果及び令和8年度同事業の実施予定について

3　閉会

## (1)本会議の目的

「札幌市環境教育・環境学習基本方針」に基づき本市が実施する取組が、着実かつ効果的に進められているかどうかを定期的に評価・検証し、今後の活動をよりよくしていくために開催(年2回)。

## (2)本会議の概要

○1回目(6～7月:今回)
- ・前年度の取組の振り返り
- ・今年度の取組予定

○2回目(12～1月)
- ・今年度の取組の振り返り
- ・次年度の取組予定

# 札幌市環境教育・環境学習基本方針 に基づき、環境教育・環境学習の取組を推進しています

## 基本理念

- みらいを想い、みんなを思い、
  真剣に考え行動できる**環境市民**を育てます

## 札幌市が主体となって推進する4つの取組

**(1) 学校などの教育機関等で行われる環境教育の推進**

**(2)「環境人材」の育成**

**(3) 環境教育・環境学習の場と機会の充実**

**(4) 普及啓発のための情報の発信・広報と行動の後押し**



## （1）学校などの教育機関等で行われる環境教育の推進

- 子どもたちが、学校での授業や総合的な学習の時間等で学んだ環境問題を体系的・計画的に理解を深める子ができるよう、地域や事業者、市各部局等と連携しながら子どもたち等への環境教育・環境学習の機会を提供します。

## （2）「環境人材」の育成

- 自然体験活動などを行っている人や特に優れた環境保全活動を行っている専門家の情報を収集し、活動の質の向上を支援したり、これらの人々の活躍の場を増やしていきます。

## （3）環境教育・環境学習の場と機会の充実

- 学校等以外の場で行われる環境教育・環境学習を支援するため、環境関連施設等の充実を図ります。
  また、イベント等での普及啓発に加え活動の表彰などを通じて、環境教育・環境学習の活性化を支援します。

## （4）普及啓発のための情報の発信・広報と行動の後押し

- 家庭・学校・地域・事業者等の各主体における自主的な環境活動が円滑に行えるよう、関連情報を取りまとめ効果的に情報提供を行うほか、広報活動等を通じて市民一人一人が環境配慮行動を自発的に行えるような後押しを行います。

## (1) 学校などの教育機関等で行われる環境教育の推進

| | | | |
|---|---|---|---|
| ア | 環境副教材・教師用手引書 | | 8 |
| イ | 環境教育へのクリック募金 | | 10 |
| ウ | エコライフレポート | | 12 |
| エ | 校外学習用バス | | 15 |
| オ | 学校での出前講座の実施 | | 17 |
| カ | 環境に関する全園・全校の取組 | 教 | 19 |

## (2)「環境人材」の育成

| | | | |
|---|---|---|---|
| ア | 環境保全アドバイザー・環境教育リーダー派遣 | プ | 20 |
| イ | こどもエコクラブ | プ | 21 |
| ウ | 指導者向け研修 | プ | 22 |
| エ | 環境教育・子どもワークショップ | | 23 |
| オ | 教員に向けた研修 | 教 | 25 |

## (3) 環境教育・環境学習の場と機会の充実

| | | | |
|---|---|---|---|
| ア | 学習支援等 | プ | 26 |
| イ | 各種講座等の実施 | プ | 27 |
| ウ | さっぽろこども環境コンテスト | | 28 |
| エ | サステナ KIDS AWARD | | 31 |
| オ | サステナ KIDS サマースクール | | 33 |

## (4) 普及啓発のための情報の発信と広報と行動の後押し

| | | | |
|---|---|---|---|
| ア | 環境プラザの情報発信 | プ | 35 |
| イ | 「環境中間支援会議・北海道」の取り組み | プ | 36 |
| ウ | 環境広場さっぽろの開催 | | 37 |
| エ | 「環境教育・環境学習ガイド」の発行 | | 39 |


教は教育委員会所管、プは環境プラザ所管、その他は環境局所管

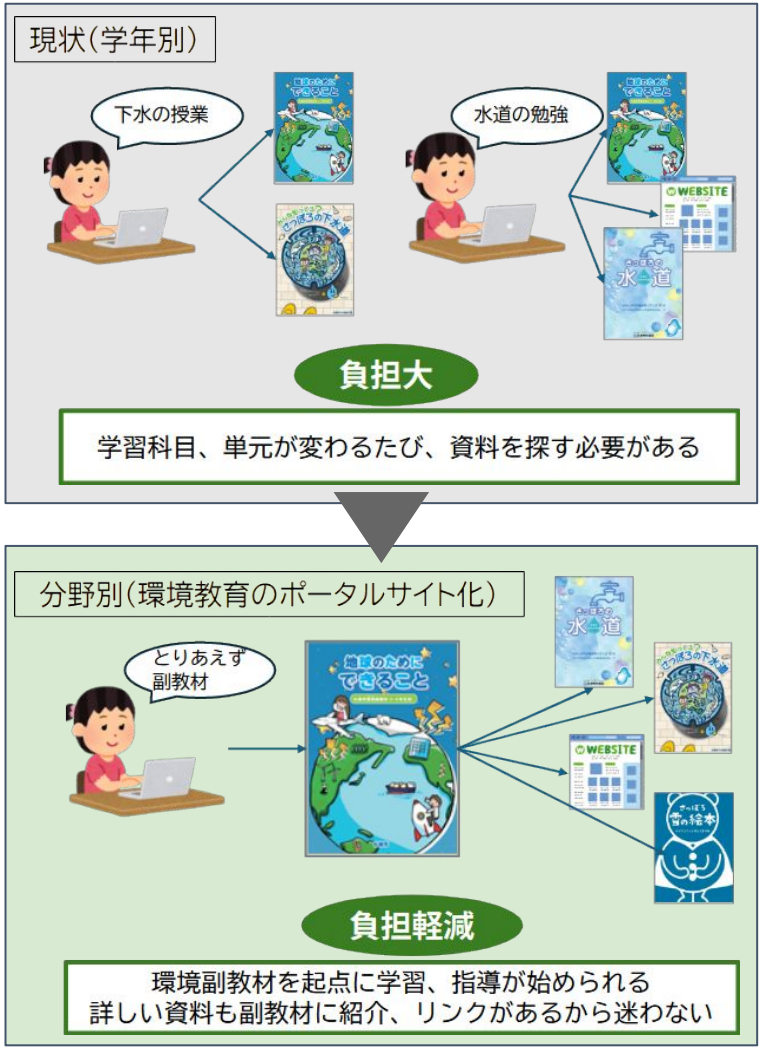
# ア　環境副教材・教師用手引書

## 事業概要

- 毎年度、市立小学校の1、3、5年生の全児童に配布し、それぞれ2か年利用
- 併せて教師用手引書も作成
- 理科、社会科、家庭科、生活科、道徳を担当する教員から構成するワーキンググループにより毎年度改訂

## これまでの経緯

- 平成13年度から継続中
- 小学校教員対象のアンケート結果（R6.11実施）に基づき、紙冊子を廃止し、電子化（デジタルブック化）を調整中
- 電子化にあわせ、教材としての活用性改善のため、学年別から分野別に内容再編を実施。
- 内容再編のため、札幌市小中学校環境教育研究会の協力のもと、同会の会員である教員をワーキンググループに追加して事業進行した。



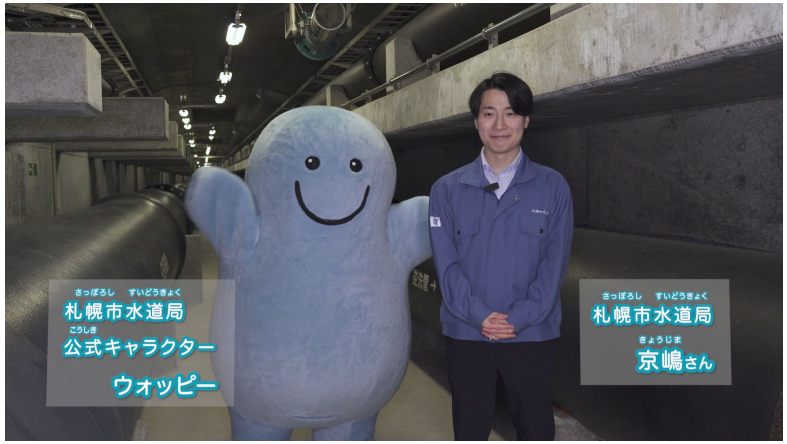

▲ 分野別のイメージ

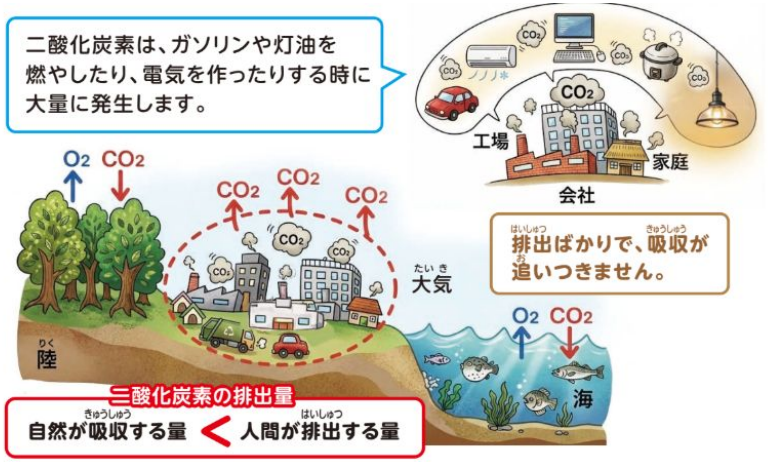
参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/index.html

# ア　環境副教材・教師用手引書

## R7の実施結果

- 学年別→分野別に再編するため、ワーキンググループに原稿を再執筆いただいた。
  （分野：生活、自然と生きもの、ごみ、水環境、雪、大気・音、地球温暖化）
- 執筆いただいた原稿を製本用データ化（ページ編集、目次作成、イラスト・表などの差し込みなど）の実施。
- デジタルブックのメリットを活かし、デジタルコンテンツ（職員インタビューなどの動画、新イラストの書き起こしなど）の作成。




## R8の予定

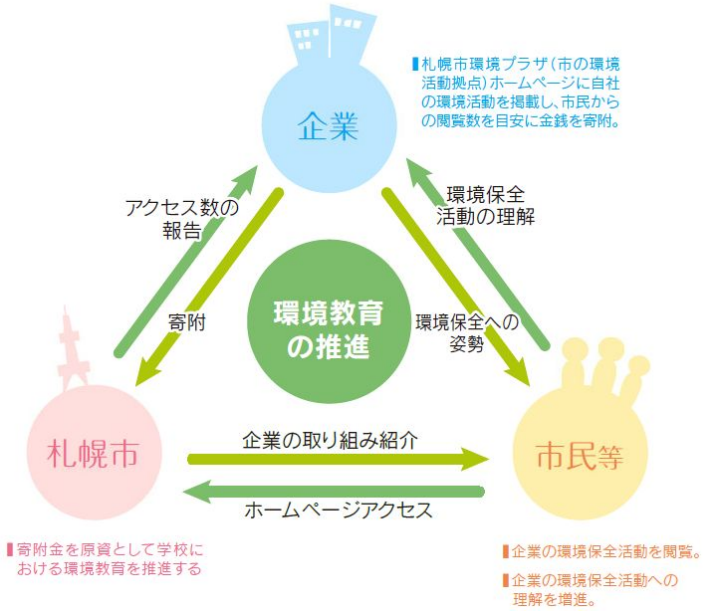
- 令和8年度中にデジタルブックを公開予定。

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/index.html

# イ　環境教育へのクリック募金

## 事業概要とこれまでの経緯

- 平成18年度に開始した、インターネットを活用した環境教育への支援制度
- 事業スキーム（右図）
  ①札幌市：協力企業の環境活動を環境プラザHPで紹介
  ②市民等：紹介ページを閲覧（クリック）
  ③札幌市：クリック数を集計、企業に報告
  ④協力企業：クリック数に応じ、環境局に寄付
  ⑤札幌市：寄付を原資に環境教育教材を購入、学校へ寄贈
- 例年、上限額いっぱいの寄付を得られているところ




## 寄付金額

- 1クリック5円、1社あたり月2万円まで（最大で年24万円）

## 協力企業一覧（R8.7時点7社）

- 北海道ガス株式会社
- 北海道ペットボトルリサイクル株式会社
- 札幌第一清掃株式会社
- 株式会社公清企業
- 北清商事株式会社
- 株式会社東部清掃
- 株式会社マテック



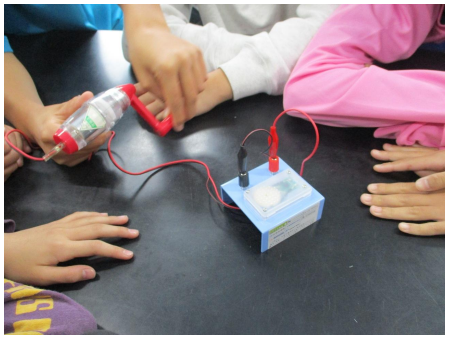

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/bokin/index.html
環境プラザHP　https://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/

# イ　環境教育へのクリック募金

## R7年度の結果

- R6年度中のクリック数に応じ、7社から合計168万円のご寄附を受領
- 1校当たり上限を3万5千円とし、希望する93校のうち、抽選で67校に寄贈

| 寄贈教材 | 手回し発電機用オルゴール（篠路小学校） | 気体検知管（西小学校） |
|---|---|---|
| 概要 | 発電機に直接つないだオルゴールから音が出ることで、電気エネルギーが音エネルギーに変換されていることを児童が実感することができた。 | 「ろうそくが燃えると、空気中の酸素の一部が使われて二酸化炭素へ変化する」ことが実験を通して確認できた。 |





## R8年度の予定

- R7年度中のクリック数に応じ、7社から合計168万円の寄附を受領（R7年度と同様）
- 1校当たり上限はR7年度と同様の3万5千円。
- 68校からの希望があり、抽選で50校に寄贈を決定。→随時提供していく。

参考リンク｜札幌市HP（事業報告書）
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/bokin/documents/r7_houkokusho.pdf

# ウ　エコライフレポート

参考資料1

## 事業概要

- 夏休み及び冬休みの前に、市立小中学校の全児童・生徒に家庭で取り組むエコ行動のチェック表を配布し、子どもたちをはじめ、家庭におけるエコ行動を促す取組
- 学校単位で子どもたちの取組結果を二酸化炭素削減効果に換算し、「認定証」を配布
- 認定証では、子どもたちが自ら考えて実践した取組の中でユニークなものを、「他にもこんな取組をしてくれました」という欄で紹介

## これまでの経緯

- 平成19年度にスタートし、恒例の宿題という印象ももたれている
- 紙を各学校で回収・保管し、環境局において集約・集計するという事務の負担軽減のため、R4から「Googleフォーム」を活用し、結果を電子集計する形式に変更
（操作不慣れで一時的に取組率が低下した）
- 紙媒体であることで親世代の目にもつきやすく、エコ行動の促進に寄与するとの考えから、紙媒体の配布を継続中




▲ R8年度 夏版　4～6年生用

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html

# ウ　エコライフレポート

参考資料1

## R7の結果について

**概要**

- 小学生向けは、サステナKIDS AWARDで優秀な賞を獲得したアイデアを織り交ぜ、自然体験や食品ロス防止などに取り組んでもらう内容
- 中学生向けは、地球温暖化についてより深い学びをできるよう、デザインや内容を一新

**実績**

| | 夏 | | 冬 | |
|---|---|---|---|---|
| | 取組率 [%] | $CO_2$削減量 [kg-$CO_2$] | 取組率 [%] | $CO_2$削減量 [kg-$CO_2$] |
| 小学生 | 90.4 | 77,009 | 89.8 | 3,323,113 |
| 中学生 | 79.9 | 34,924 | 77.0 | 1,524,775 |
| 合　計 | 86.9 | 111,933 | 85.5 | 4,847,888 |

※$CO_2$削減量は子どもたちの取組項目からの 1か月の推計値

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html

# ウ　エコライフレポート

参考資料1

## R8年度　夏休み分の取組項目について

| | 小学生 | 中学生 |
|---|---|---|
| 1 | 水道やシャワーの水を<br>出しっぱなしにしない。 | 水道やシャワーの水を<br>出しっぱなしにしない。 |
| 2 | 自然の中に出かける。 | マイバッグ、マイボトルを使う。 |
| 3 | 公共交通機関を利用する。 | 今持っている服を長く大切に着る。 |
| 4 | エアコンの温度を下げ過ぎない。 | 徒歩・自転車・公共交通機関を<br>利用する。 |
| 5 | 使えるものを大切にする。<br>（サステナキッズアワード2026優秀作品より） | 食べ残しをしない。 |
| 6 | 食べ残しをしない。<br>（サステナキッズアワード2026優秀作品より） | エアコンの温度を下げ過ぎない。 |
| 7 | 自由記述欄（4～6年生のみ） | 自由記述欄 |

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html

# エ　校外学習用バス

## 事業概要とこれまでの経緯

- 市内小中学校を対象に校外学習用バスの手配し、環境に関する体験学習を支援する事業
- 平成19年度に開始し、平成28年度から市外近郊や民間施設も見学対象施設に追加
- 校外学習の参考となるよう、太陽光発電や風力発電の設備、LNG（液化天然ガス）基地などを組み込んだモデルコースを紹介しているほか、各学校が独自に希望する見学先についても対応

## 過去実績とR8予定

| | R4 | R5 | R6 | R7 | **R8（予定）** |
|---|---|---|---|---|---|
| **応募校数** | 57校 | 94校 | 60校 | 68校 | **46校** |
| **利用校数** | 35校 | 7校 | 27校 | 31校 | **29校** |
| **バス利用台数** | 114台 | 12台 | 59台 | 62台 | **58台** |

※校数、台数は延べ数
※R5は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うバス不足等により、規模縮小

| 主な見学先（R8予定） | 見学校数 |
|---|---|
| 白石清掃工場 | 8 |
| 円山動物園 | 6 |
| 下水道科学館 | 6 |
| モエレ沼公園 | 5 |
| 発寒清掃工場 | 4 |
| 札幌市リサイクル団地 | 4 |
| 石狩LNG基地 | 3 |
| 創成川水再生プラザ | 3 |

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/index.html

# エ　校外学習用バス

## R7バス利用校の紹介（実施報告書から一部抜粋、要約）

**円山動物園（もみじの丘小学校1、2年生）**

実際に動物園で動物の体のつくりや特徴を見ることで、国語や生活科の学習と結び付けて考えることができた。また、動物園で働く人の様子も知ることができ、学びを深めることができた。







**市内の玉ねぎ農家（北光小学校3年生）**

畑を訪問し、玉ねぎの栽培から出荷までの流れを学んだ。
農家の方からは、「地球温暖化の影響なのか、近年は玉ねぎの収穫量が以前より減ってきている」との話があり、地球温暖化などの環境変化が農業に影響を及ぼしていることを知り、身近な問題として捉える姿が見られた。

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/index.html

# オ　学校での出前講座の実施

## 事業概要

- 市民への情報提供と対話の一環として、申し込みに応じて市職員が出向き、所管事業について分かりやすく説明を行う全市的な事業
- 環境局環境政策課では、以下の2テーマを実施
  - アニメで学ぶ！地球温暖化
    ～小・中学生のわたしたちにできること～
  - 気候が変動するってどういうこと？
    ～わたしたちができること～
- SDGsの普及や地球温暖化・気候変動への関心の高まりなどから、学校における総合学習などの授業の一環として活用されている

ガラスの地球を救え！
Save our mother earth project




原案：手塚治虫
声の出演：本田望結、田中あいみ、千葉繁など

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/somu/demaekoza/index.html

# オ　学校での出前講座の実施

## R7の結果と今後の予定

- 実施回数は下表参照
- 引き続き、事業を継続していく

| | R4 | R5 | R6 | R7 | **R8※** |
|---|---|---|---|---|---|
| **小学校** | 4件<br>（214人） | 6件<br>（298人） | 6件<br>（538人） | 5件<br>（290人） | **2件<br>（158人）** |
| **中学校** | 4件<br>（798人） | 9件<br>（561人） | 5件<br>（105人） | 4件<br>（50人） | **1件<br>（16人）** |
| **高等学校** | 5件<br>（960人） | 3件<br>（50人） | 2件<br>（24人） | 0件<br>（0人） | **0件<br>（0人）** |
| **合計** | 13件<br>（1,972人） | 18件<br>（909人） | 13件<br>（667人） | 7件<br>（316人） | **3件<br>（174人）** |

※令和8年6月末現在

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/somu/demaekoza/index.html

# カ　環境に関する全園・全校の取組

教育委員会

## 事業概要とこれまでの経緯

- 「環境首都・札幌」の宣言日である6月25日を契機に「さっぽろっ子環境ウィーク」期間を設定
- 全ての市立園・学校がエコスクール宣言校として、環境に関わる取組（エコアクション）を重点的に見つめなおす
- 各校で、課題探究的な学習と自治的な活動の中にエコアクションを位置付け、札幌市の幼児児童生徒に環境を守り育てようとする態度を育んでいる




▲「シマエナガちゃんとまなぼうっ！！」より

## R8の予定

- 「さっぽろっ子環境ウイーク」に、市立高校の生徒が作成した動画などを児童生徒が視聴し、環境に関する問題を考え、課題探究的な学習や自治的な活動において取組を実践していく



▲小中学校、地域が連携した清掃活動の様子

参考リンク｜札幌市教育委員会 HP　https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/sappororashiisuishinzigyou.html

# ア　環境保全アドバイザー・環境教育リーダー派遣

環境プラザ

## 概要

**札幌市環境保全アドバイザー派遣制度**（令和8年4月1日現在８人）

地球環境、自然保護、リサイクル、ごみ問題等など、環境分野の研修会や学習会等に専門家を派遣

**札幌市環境教育リーダー派遣制度**（令和8年4月1日現在２１人）

主として野外での活動を通して、植物、野鳥、昆虫、水生生物などの自然観察会や
地球温暖化、ごみ、エコライフ分野の指導者や解説者を派遣

## R7の結果と今後の予定

- 例年、川での自然観察、自然体験活動が多く、全体の半数近い依頼が川での活動
- 小学校、幼稚園・保育園の依頼が多く安全管理面での留意点が多い
  講師のみなさまとも共有しながら、利用者の希望に寄り添った支援を継続していきたい
- 新規利用団体にも体験内容が分かりやすくなるよう、情報発信方法を検討したい

| | | R4 | R5 | R6 | R7 | **R8※** |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **アドバイザー** | 派遣件数<br>(参加人数)<br>＜登録者数＞ | 18件<br>（479人）<br>＜10人＞ | 27件<br>（1,204人）<br>＜9人＞ | 21件<br>（1,053人）<br>＜8人＞ | 24件<br>（953人）<br>＜8人＞ | **5件**<br>**（169人）**<br>**＜8人＞** |
| **リーダー** | 派遣件数<br>(参加人数)<br>＜登録者数＞ | 64件<br>（1,463人）<br>＜26人＞ | 59件<br>（1,424人）<br>＜23人＞ | 49件<br>（1,176人）<br>＜28人＞ | 49件<br>（1,158人）<br>＜24人＞ | **11件**<br>**（293人）**<br>**＜21人＞** |

※令和8年6月末現在

参考リンク｜環境プラザ HP https://www.kankyo.sl-plaza.jp/lecturer-dispatch/

# イ　こどもエコクラブ

環境プラザ

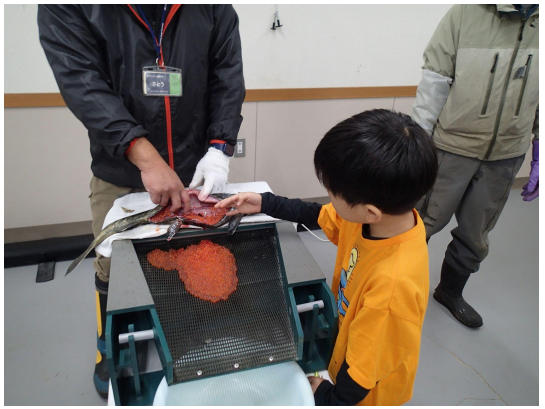
## 事業概要

- (公財)日本環境協会が実施するこどもエコクラブの札幌事務局として、登録団体等への情報提供
- さっぽろあそエコ団の運営

## R7の結果と今後の予定

- こどもエコクラブ交流会
  令和7年度は各クラブの活動報告後に、札幌市豊平川さけ科学館にて施設見学ツアーおよびサケの採卵体験プログラムに参加。市内の川を遡上してくるサケを実地見学した他、施設内の展示や実際にサケの腹を捌く採卵実習など、クラブ間の交流に加え、身近な自然に生きる魚の生態系について学んだ。
  今後もクラブ間の交流とあわせて、さまざまな体験活動を加えながら活動の活性化と環境保全への意識啓発を図りたい。





参考リンク｜環境プラザ HP　https://www.kankyo.sl-plaza.jp/j-ecoclub/

# ウ　指導者向け研修

環境プラザ

## R7の結果と今後の予定

- 北海道の景観を象徴する「防風林」に着目し、北海道立総合研究機構林業試験場より講師を招き、防風林の地球環境における役割や、ネイチャーポジティブの観点から見た重要性の理解を深めるものとする内容とした。令和8年3月の開催予定は、参加申込数が少数に留まったため令和8年度へと延期し、同年5月27日（水）に実施した。当日は、VRによる室内防風林体験や木・花を用いた香水づくり、植物標本づくりなど、五感を刺激する多彩なプログラムを展開。参加者がこれらを実際に体験することで、新たな視点に立った環境教育の手法を学ぶ有意義な機会となった。







# エ　環境教育・子どもワークショップ

## 事業概要

- 未来を担う子どもたちが、地球環境を意識して生活する心を育み、自発的な行動につなげるきっかけとなることを目指して開催しているワークショップ。
- コロナ禍において対面開催が難しかった背景から、「オンラインで各会場をつなぐ」という形式を採用し、以後継続している。
- 本部のメインファシリテーターから会場である各児童会館にオンラインでプログラム配信。公募したユース世代のファシリテーターとグラフィッカー(※)を会場ごとに配置し、子どもたちの対話を引き出しつつオンラインで会場間の意見交換を行う。



▲本部

※ファシリテーター：中立的な立場から、参加者の意見を引き出すなど進行をサポートする役割

※グラフィッカー：意見や議論の内容を「絵」や「図」に起こし、視覚的に記録する役割

## R7の実施結果

- 令和8年2月21日（土）10:30～11:30に5つの児童会館で実施。(51名の児童が参加)
- ユース世代のファシリテーターが7名、グラフィッカーが8名が参画し、子どもたちの学びのサポートを行った。





▲児童会館

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/kodomo_workshop/fy_workshop.html

# エ　環境教育・子どもワークショップ

## これまでの課題

- １時間という限られたプログラム時間では、学びの質・量ともに制約があること
- 児童会館という開催場所の特性上、参加者が低学年に偏り内容が固定化していること
- コロナ禍で有効であった分散型のオンライン形式は、通信環境の準備に要するコストの面から費用対効果が最適とは言えないこと
- 「派遣型」ではユース人材の現場経験としても限定的であること　　など

## R8の予定

- 北海道大学発スタートアップ企業である合同会社エゾリンクの協力を得て、ゲーム性の導入、対象世代の拡大及び実体験の重視といった観点から、プログラムを再構築し、集合対面型の脱炭素ワークショップ「カーボンクエスト」として令和8年10月11日（日）に環境プラザで開催を予定している。




参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/kodomo_workshop/fy_workshop.html

# オ　教員に向けた研修

教育委員会

## 事業概要とこれまでの経緯

- 札幌市の学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的に、「SDGsの基礎」や「環境教育に役立つ施設活用」など環境教育に関する専門的研修を実施
- 講義・演習に加え、施設における体験活動を通して深めた理解を授業づくりにつなげることで、より日常の教育活動に生かすことが可能な研修を実施

## R7実施状況

- 延べ70人以上の教員が受講

## R8実施予定

- 研修
  「環境教育へ役立つ施設活用～円山動物園①体験編」
  「環境教育へ役立つ施設活用～円山動物園②授業づくり編～」
- 講義・演習に加え、施設における体験活動を通して深めた理解を授業づくりにつなげることで、より日常の教育活動に生かすことが可能な研修を実施

# ア　学習支援等

環境プラザ

## 事業概要とこれまでの経緯

- 見学者への展示解説、展示物を利用した見学者向け環境教育プログラム、教材の貸し出しなど
- 環境プラザにおける学習支援（施設見学対応・総合学習対応）は令和6年度比9件の増加

## 結果、実施状況

- 見学団体へのアンケートでは肯定的な意見が多く、展示解説やワークショップを通じて環境問題と日常生活の結びつきを促すなど、一定の成果を上げることができた。
- 今後は、参加者の年齢層や理解度に応じた柔軟な説明方法の調整や、体験・対話を取り入れた進行の工夫が課題となる。今後も内容の改善を重ねて効果的な事業展開を図るとともに、環境問題を身近に学べる機会のさらなる充実に繋げていきたい。

| | R4 | R5 | R6 | R7 | **R8※** |
|---|---|---|---|---|---|
| **施設見学** | 417人 | 611人 | 557人 | 909人 | **65人** |
| **総合学習** | 591人 | 508人 | 539人 | 507人 | **191人** |
| **教材貸出** | 102件 | 91件 | 99件 | 128件 | **7件** |

※令和8年6月末現在

参考リンク｜環境プラザ HP https://www.kankyo.sl-plaza.jp/

# イ　各種講座等の実施

環境プラザ

## R7実施状況とR8実施予定

R7実施状況

- 「（一社）楽子森」と連携した木育に関連したワークショップを開催
- 海鳥センターの職員による海鳥のヒナの飼育体験アクティビティを通じた海鳥の生態や海洋プラスチックごみについての学習会を開催
- 「Heal北海道」と連携したフードマイレージに関連した調理体験プログラムを開催







R8実施予定

- 鳥の生態を学び、鳥たちが暮らしやすい環境について考える学習会を開催する。
- 札幌市青少年科学館の天文指導員による、天体および地球環境に関する学習会を開催する。

参考リンク｜環境プラザ HP　https://www.kankyo.sl-plaza.jp/

# ウ　さっぽろこども環境コンテスト

## 事業概要

- 小中学生が、環境のために取り組んでいる活動を発表するコンテスト
- 発表を通じて、周囲の子どもたちのほか、大人たちにも活動の輪を広げていくことが目的
- コンテストにて最優秀賞を受賞した学校・団体は市長報告会（市長の前での発表会）に招待
- 審査には、本会議の委員にもご参加いただいている



▲ さっぽろこども環境コンテスト2025の様子

## これまでの経緯

- 平成20年度から継続して実施
- 令和5年度以降は、事前に収録した動画による参加も受け付けることとし、参加機会の拡大に努めている。







▲ 市長報告会（2025年度）の様子

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/contest/2025/index.html

# ウ　さっぽろこども環境コンテスト

## R7の結果（コンテスト結果）

- **審査体制**

| | | |
|---|---|---|
| 審査員長 | 北海道大学文学研究院　教授 | 大沼　進　様 |
| 審査員 | 北海道エコビレッジ推進プロジェクト理事長 | 坂本　純科　様 |
| | 札幌藻岩高等学校　学校長 | 野口　浩史　様 |
| | 札幌市小中学校環境教育研究会　事務局長 | 高橋　浩史　様 |
| | 株式会社アドバコム　代表取締役 | 臼井　純信　様 |

- **審査項目**（22点満点）

| 評価項目 | 内容（点数） |
|---|---|
| 継続性・広がり | 継続して活動でき、周囲の子どもたちや大人たちへ広がりが期待できるか。（5） |
| 理解・認識 | 子どもたちが、活動の意義をよく理解しているか。（5） |
| 効果 | 活動による環境保全への効果が大きいか。（3） |
| 着眼点・独創性 | 環境保全との繋がりに着目した、オリジナリティのある活動か。（3） |
| 発表 | 発表が分かりやすくまとめられ、活動内容が伝えられたか。（3） |
| 協力・協働 | 子どもたちが活動目標達成のために学び合ったり、協力し合っているか。（3） |

※「協力・協働」の評価項目は令和5年度第2回推進委員会でのご意見を基に追加

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/contest/2025/index.html

# ウ　さっぽろこども環境コンテスト

## R7の結果（コンテスト結果）

| | 小学校の部 | 中学校の部 | 学校外団体の部 |
|---|---|---|---|
| 最優秀賞 | 北光小学校 | 米里中学校 | 定山渓児童会館 |
| 優秀賞 | 田中学園立命館慶祥小学校 | 義務教育学校定山渓学園 | 五天山自然観察クラブ |
| 特別賞 | 駒岡小学校<br>小野幌小学校<br>（エコチル特別賞） | 西野中学校<br>（クリック募金特別賞） | 旭山自然調査隊<br>さっぽろあそエコ団<br>（クリック募金特別賞） |

※環境への取組を継続して実施し、コンテストに毎年参加いただいていた「米里中学校科学部」及び「旭山自然調査隊」が、令和7年6月に「環境保全活動功労者」として北海道知事表彰、令和8年6月に「地域環境美化功績者」として環境大臣表彰を受賞

## R8の予定

- 以下の開催概要にて実施予定
  【名称】さっぽろこども環境コンテスト2026
  【日時】令和8年12月5日（土）　午後
  【会場】札幌エルプラザ公共4施設3階ホール（北区北8条西3丁目）

参考リンク｜札幌市HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/contest/2025/index.html

# エ　サステナKIDS　AWARD

## 事業概要

- （一社）SWiTCHとの共催、「若者共創プロジェクト」の取組
  ※主催は（一社）SWiTCH、札幌市は共催の立場
- 小学生～高校生を対象に企業や団体等の課題を「ミッション」として提示し、それを解決するアイデアをマンガ形式などで提案してもらい、課題を提出した各企業・団体や、秋元市長をはじめとした特別審査員により応募作品を審査する事業

## これまでの経緯

- G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合（R5.4）を契機とした（一社）SWiTCHとの連携事業として、「サステナKIDS AWARD札幌2025」をR7.3に初開催



第1回表彰式の様子
（特設HP掲載の報告書より引用）

参考リンク｜一社）SWiTCH特設 HP　https://switch.bio/kidsaward-sapporo2026/

# エ　サステナKIDS　AWARD

## R7の実施状況

- 第2回の開催「サステナKIDS AWARD札幌2026」
- 対象を「さっぽろ連携中枢都市圏(※)」の小学生とし、昨年度とほぼ同じ形式により実施
  ※さっぽろ連携中枢都市圏：札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町の 12市町村から構成する圏域
- ミッション提示団体数　17件
- 応募総件数　1098点（3コマ漫画、ポスター）
- 表彰式
  日時　2026年3月14日（土）
  会場　札幌エルプラザ公共4施設3階ホール



## R8の予定

- R7と同様の方式での開催に向けて、（一社）SWiTCHと協議中

参考リンク｜一社）SWiTCH特設 HP　https://switch.bio/kidsaward-sapporo2026/

# オ　サステナKIDS　サマースクール

## R7の実施状況

- 第1回「サステナKIDS サマースクール」を開催（札幌市は共催）
- 参加者：札幌市在住の小学校4～6年生　計45名
- 会場：北海道大学、円山動物園
- 事業概要：小学4～6年生50名が8月20日～22日の3日間、北海道大学や円山動物園を会場として、同大学の教授等から、特別なワークショップや実験、自然観察などを通じて、地球温暖化やサステナブルな暮らしについて楽しく学ぶ事業。





参考リンク｜一社）SWiTCH特設 HP　https://switch.bio/event/summer0820/

# オ　サステナKIDS　サマースクール

## R8の予定

- 第2回「サステナKIDS サマースクール」を開催予定（札幌市は共催）
- 日程：8月19日～21日
- 参加者：札幌市在住の小学校4～6年生
- 会場：北海道大学




参考リンク｜一社）SWiTCH特設 HP　https://switch.bio/event/summerschool260819/

# ア　環境プラザの情報発信

環境プラザ

## 事業概要とこれまでの経緯

- 講師派遣や貸出教材、事業などについてホームページで情報提供
- フェイスブック、Instagramでの投稿や情報発信

## R7の結果

**HP**

| | R4 | R5 | R6 | R7 | **R8※** |
|---|---|---|---|---|---|
| **HPアクセス数** | 106,612 | 97,369 | 90,460 | 100,848 | **26,782** |

※令和8年6月末現在

**SNS**

- 効果的な発信とするため、定期的な配信を実施している。
  また、事業案内だけではなく、プラザ内の展示や動画コンテンツも活用して発信していく。
- インスタグラムのフォロワー数は430人（令和8年3月末）だったところ、定期配信コンテンツや動画の投稿を増やすことによって、令和8年7月時点で489人に増加している。

参考リンク｜環境プラザHP　https://www.kankyo.sl-plaza.jp/
環境プラザInstagram　https://www.instagram.com/plaza_kankyo/
環境プラザFacebook　https://www.facebook.com/kankyo.sl.plaza/

# イ 「環境中間支援会議・北海道」の取り組み

環境プラザ

## 事業概要とこれまでの経緯

- 様々な組織との間に立って、情報提供やアドバイス、コーディネート等のサポートを行う会議
- 環境省北海道環境パートナーシップオフィス（通称：EPO北海道）、
  公益財団法人北海道環境財団、札幌市環境プラザが連携して、
  北海道内における様々な環境活動の支援を実施
- 環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市もオブザーバーとして会議参加
- ホームページ「環境☆ナビ北海道」にて、環境に関するイベント情報等を配信




参考リンク｜環境☆ナビ北海道 HP https://enavi-hokkaido.net/

# ウ　環境広場さっぽろの開催

## 事業概要

- 子どもたちを主たる対象に、環境教育を目的とした「みらいを想う総合環境イベント」
- 環境やSDGsについて、情報に触れ、考え、環境行動の実践につなげるきっかけをつくるイベント




## これまでの経緯

- H10　　初開催（R7で28回目）
- H30　　会場をアクセスサッポロから札幌ドームに変更
  子ども向けの普及啓発を主目的としたイベントに方針変更
- R2,3　札幌ドームをモデルとした仮想空間を会場とするオンラインイベントとして開催
  （新型コロナウイルス感染症の拡大による）
- R5　　「環境広場ほっかいどう2023」に参画
  （G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会主催事業）

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/hiroba/

# ウ　環境広場さっぽろの開催

## R7の結果

- 環境広場さっぽろ2025：テーマ「ゼロカーボン×夏祭り！未来を創るエコアクションフェス」
- 令和7年7月26日（土）、27日（日）大和ハウス プレミストドーム（延べ18,455人が来場）

## R8の予定



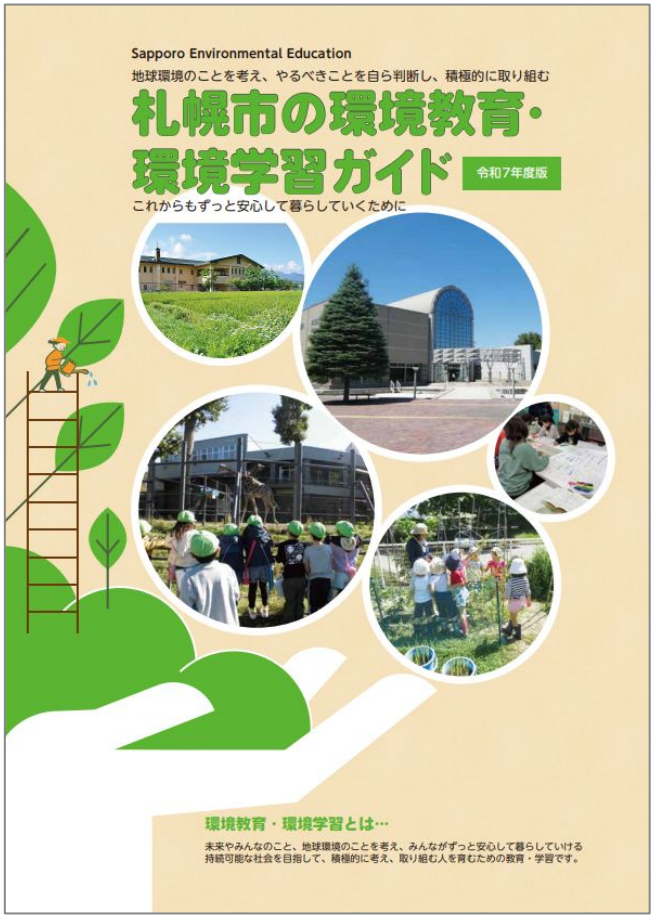

参考リンク｜札幌市 HP　https://www.city.sapporo.jp/kankyo/hiroba/

# エ 「環境教育・環境学習ガイド」の発行

参考資料8

## 事業概要とこれまでの経緯

- 「札幌市環境教育・環境学習基本方針」に基づき、
  環境問題の理解促進や環境保全行動の推進に向けて
  各部局が行っている取組を環境局でとりまとめた冊子
- 令和2年度に初版、毎年度内容更新して発行
- 学校や市民への広報・情報提供により、
  各取組への市民参加を促し、
  環境教育・環境学習の一層の推進を図る
- 各部局の環境教育・環境学習に対する意識を高め、
  基本方針の趣旨に沿った事業展開を促す




▲ 令和7年度版表紙

参考リンク｜札幌市HP https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/documents/eco_edu_guide_r7.pdf

# エ 「環境教育・環境学習ガイド」の発行

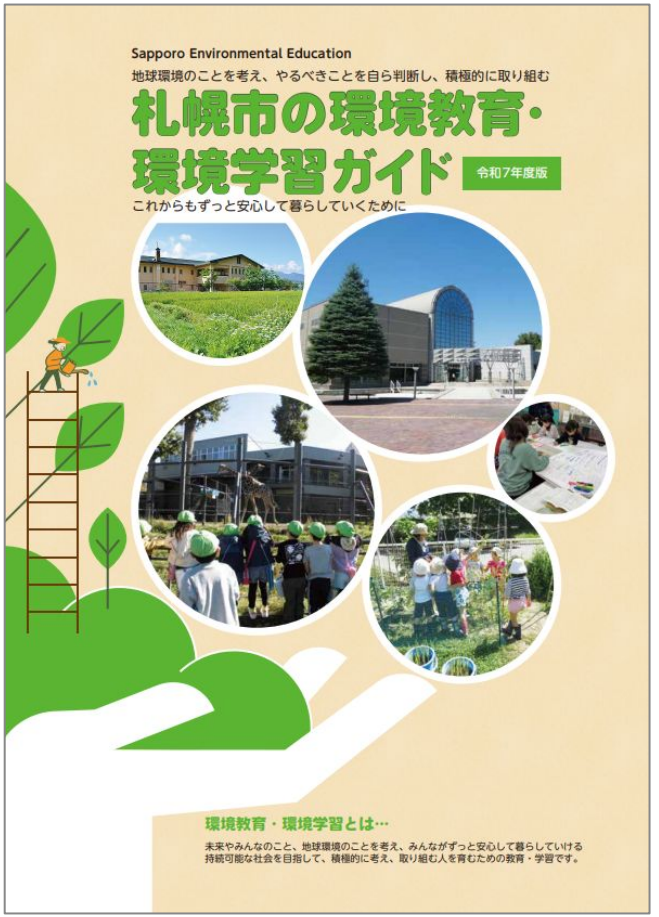
参考資料8

## R7年度版取りまとめ結果（R6年度実績）

| 基本方針の4つの取組に基づく分類 | 事業件数 |
|---|---|
| (1)学校などの教育機関等で行われる環境教育の推進 | 13 |
| (2)「環境人材」の育成 | 4 |
| (3)環境教育・環境学習の場と機会の充実 | 111 |
| (4)普及啓発のための情報の発信と広報と行動の後押し | 12 |
| 合計 | 140 |

## R8の予定

- 令和8年度版（R7年度実績）の取りまとめ中。
- 紙冊子の印刷は廃止とし、電子版の公開を行う。




▲ 令和7年度版表紙

参考リンク｜札幌市HP https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/documents/eco_edu_guide_r7.pdf